

国家戦略特区 プロジェクト提案

「世界最高水準の民の都」が日本をけん引！

2013年9月11日

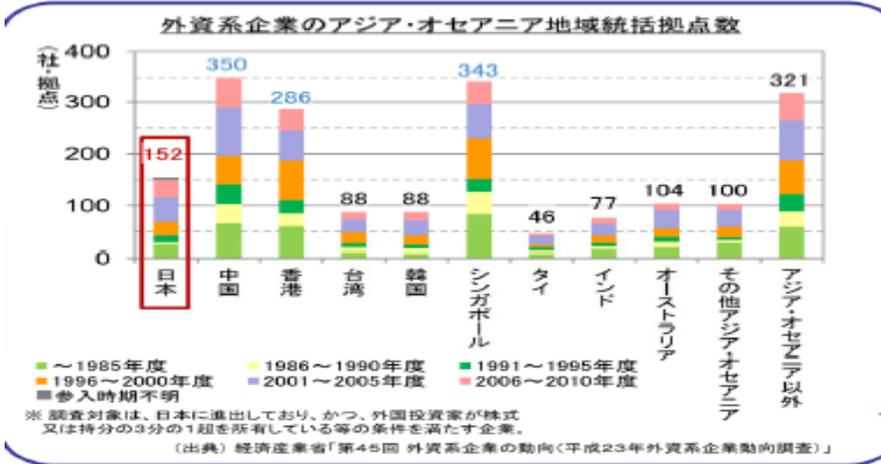
大阪府・大阪市

日本が世界で一番ビジネスをしやすい国にするために

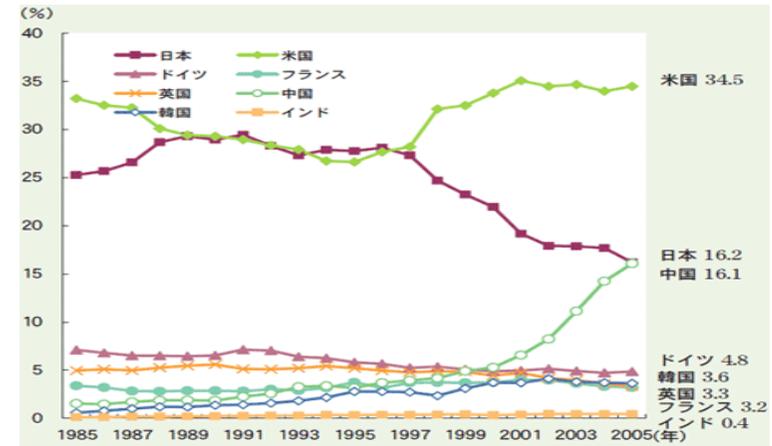
【今、わが国が抱える課題とは？】

- 経済活力低下により、日本が有していた、市場規模を背景とした世界での相対的な優位性は低下。成長著しいアジア新興国などにその地位を奪われつつある。
⇒たとえば国際企業の地域統括拠点数で、日本は、中国、シンガポール等より少数に留まっている状況
- 民間の設備投資抑制が慢性化、研究開発が進まず、成長の源泉である「イノベーション」が枯渇する恐れ。また新たなビジネスを生み出す新規創業数なども低迷。
- 高度外国人材、外国人観光客、留学生、国際会議(MICE)などにおいて世界の活力を取り込めていない状態

統括拠点は中国、シンガポール等より少なく、日本から海外に拠点を移す企業も増加



ハイテク産業の付加価値収益の日本の世界シェアは低下の一途



出典: 科学技術白書(H20)

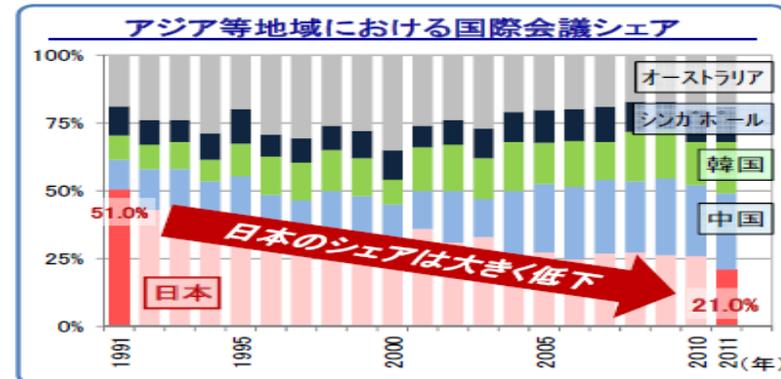
外国企業から見て投資先としてアジアで最も魅力的な国・地域

⇒ 中国やシンガポールが日本より優位

| | 日本 | 中国 | インド | シンガポール | 韓国 | 香港 |
|-----------|-------|-------|-------|--------|----|-------|
| アジア地域統括拠点 | 10% | 14.2% | 10% | 16% | 2% | 13% |
| 製造拠点 | 1% | 14.4% | 21.4% | 2% | 2% | 2% |
| R&D拠点 | 2.21% | 1.33% | 20% | 8% | 4% | 2% |
| バックオフィス | 8% | 1.39% | 2.19% | 15% | 2% | 9% |
| 物流拠点 | 3% | 1.63% | 8% | 11% | 2% | 6% |
| 金融拠点 | 10% | 1.30% | 9% | 21% | 4% | 2.23% |
| 販売拠点 | 7% | 1.50% | 7% | 11% | 4% | 2.13% |

*拠点ごとに国・地域を1つ選択
*回答企業180社(日本進出済30社含む)から無回答(該当国なし含む)企業を除く百分率(欧州60社、北米60社、アジア60社)
資料: 経済産業省「欧米アジアの外国企業の対日投資関心度調査(2009年)」から作成。

アジアにおける国際会議のシェアは大きく低下



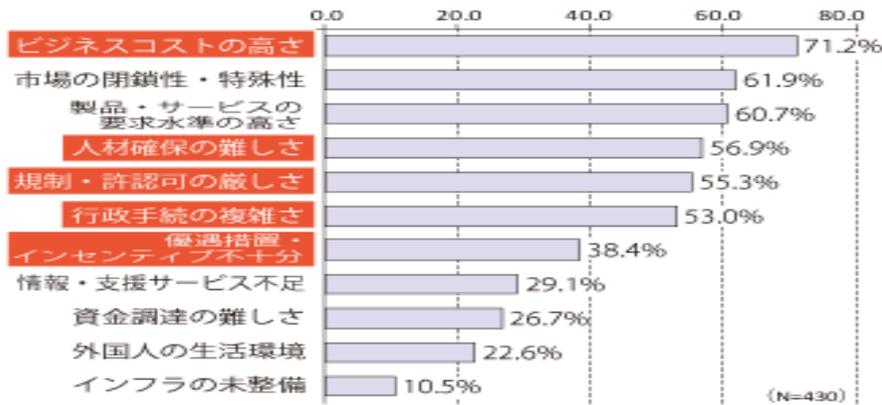
出典: 国土交通省資料

日本が世界で一番ビジネスをしやすい国にするために

【低迷を招いている要因は？】

- 外国企業が日本を敬遠するのはビジネスコストの高さ、規制・行政手続の複雑さ、インセンティブ不足等々の理由があげられる。また、国内企業にとっても、世界と競争していく上で日本のビジネス環境は大きな足かせになっている。
- 官制市場が多く残され、民間ノウハウの活用や選択肢の拡大が進んでいない。ビジネスのイノベーションにもマイナス。
- 医療・環境・新エネルギー等の成長分野において世界をリードしていくためにも、規制・制度改革が大きな鍵となっている。
- 日本経済のけん引力となるべき都市が老朽化や空洞化で新興諸国の都市に比べ、魅力を失いつつある。

ビジネスコスト、規制・許認可などが外国企業の日本参入の阻害要因



* 回答企業430社、複数回答
 * 各投資環境について、「かなりの阻害要因(a)」、「少し阻害要因(b)」、「阻害要因ではない(c)」の3段階評価を行い、(a) (b) と回答した企業の割合
 資料：経済産業省「外資系企業の意識調査 (2009年)」から作成

出典：通商白書 (2011年) 経済産業省

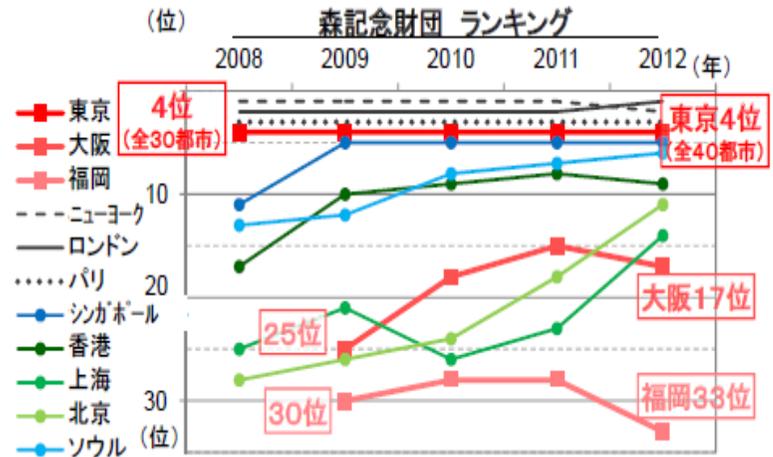
法人税実効税率の国際比較



※財務省調べ、2012年12月時点

世界と比べて高い法人税の実効税率

世界の都市ランキング推移ではアジアの都市が急速に伸びている



出典：国土交通省資料

海外と比べ日本では遅れている(導入が進んでいないなど)分野の例

- ・保税特区など大胆な税減免を含めた特区制度
- ・医療などの研究開発を実用化にスピード感をもって進める環境
- ・外国からの高度人材を呼び込むための制度やインセンティブ
- ・学校教育など公共部門の民間開放

世界に打ってでる、世界を呼び込むためには

【今、国家戦略として取り組むべき方向は・・・】

これら課題を克服し、日本が世界に打ってでる！

日本を世界が一番ビジネスしやすい国とし、世界を取り込むためには、国家戦略として、大胆な規制緩和やインセンティブにより、とくに経済をけん引する大都市において世界水準のビジネスや生活の基盤となる立地環境の整備や日本が強みを有する医療等の分野で次々とイノベーションを創出することが必要。

分野

日本再生に向けた政策課題

国家戦略として取り組むべき内容

課題解決型のリーディング産業「健康医療産業」の創出

- 我が国が豊富なシーズを有する先端医療分野(再生医療など)や医薬品・医療機器などで世界に打って出ていくことが今後の成長の鍵
- 世界でも類を見ない高齢社会に対応した健康や医療の先端モデルを構築する。

- 大胆な規制緩和により研究開発から実用化、海外展開までを加速
- 総合特区やこれまでの規制改革では困難であった岩盤規制を打ち破り、新たな次元で世界トップクラスの研究から実用化へのモデルを構築)
- 日本発の豊富なシーズやものづくりの融合でパッケージ輸出を促進

世界と戦える都市ビジネス環境を整備

- 都市の老朽化・アジアと比較した競争力の相対的な低下が進む中で、民主導の都市空間のリノベーション、ビジネス環境整備が急務。

- アジアの主要都市と戦え、世界から人、モノ、金を呼び込める都市空間を民主導で整備
(民間活力・投資を最大限に引き出すために大胆な民間開放と規制緩和を実施(異次元の民間モデルを構築))
- 次代をけん引する内外企業の集積促進。イノベーションの担い手となるベンチャー等の創業を促進

グローバル展開を支える物流インフラ整備と&人材育成・労働環境整備

- 我が国の競争力を支え、基盤的な機能を担う空港・港湾・道路網の高コスト構造改善や利便性の向上が必要
- 少子化の中で次世代産業をささえる創造的な人材の育成が不可欠。

- 我が国の窓口機能を果たす空港・港湾・道路網等の整備・世界トップレベルの利便性の提供
- 民間ノウハウを活用したグローバル人材育成・雇用流動化策の推進

大阪は都市機能や民の力、実績からも、国家戦略を遂行するに相応しいポテンシャル

- ・首都圏に次ぐ経済圏であり、アジアのゲートウェイとしても高いポテンシャルを有する大阪・関西はわが国の「第2のエンジン」に最もふさわしい地。
- ・大阪の強みは、大都市としての都市機能のほか、東京には無い、医療やものづくりの資源の蓄積と、民が主導して成長してきた気風。また、大阪・京都・奈良の歴史文化や、神戸の外国人向けアメニティといったストックを活かせる国際的な職住・健康拠点としての魅力。

世界に誇る大阪の強み(ポテンシャル・実績)

世界と対抗しうる都市機能

- 主要国1か国分の巨大経済圏
- 24時間空港の関西国際空港、国際コンテナ戦略港湾・阪神港などアジアのゲートウェイとしての充実した社会インフラ基盤
- 東京と比較すると有利なビジネスコスト



- 「グランドデザイン大阪」に基づき、民間主導での圧倒的な魅力ある都市空間形成が進行中

豊富なイノベーションの土壌

- 我が国随一の世界規模のライフサイエンスのクラスターを大阪は形成
 - ・医薬品産業集積(医薬品生産額で大阪は全国トップ)
 - ・我が国を代表する先端医療の研究基盤(大阪大、国立循環器病研究センター等)

- わが国最大級の中小ものづくり企業の集積(東部大阪など)

- 世界初の商品・サービスを次々生み出してきた土壌



民の力(民間開放)

- 「民の都」として、民間がまちづくりを主導してきた長い歴史
- 我が国をリードする民間開発の先進地(関空、学研都市、大阪湾ベイ開発)
- 規制緩和・民間開放を先導してきた蓄積(大阪版市場化テスト、指定管理の導入など)

大阪府市は各地域に先んじて、成長にむけた大胆に取り組み中

- 大阪府市では、世界をリードする大阪の実現のため、府市の成長戦略を一本化した「成長戦略」のもと、関西イノベーション国際戦略総合特区等の取組み(全国初の地方税ゼロの創設など)により、わが国の成長に貢献する取組みを展開中。
- 民が活動しやすいフィールドを提供するため、大阪府市で「規制改革会議」を設置し、自らの条例等の自己点検や、国への規制改革提案等を実施中

◆全国初「地方税ゼロ」の制度創設

- ・大阪府内の特区に進出し、新エネルギーやライフサイエンス等に関する事業を行った場合、最大で地方税がゼロに。

<対象地域> 夢洲・咲洲地区及び阪神港地区、大阪駅周辺地区、北大阪地区(彩都西部地区等)、関西国際空港地区

<対象税目>

(大阪府)法人府民税、法人事業税、不動産取得税、

(大阪市・吹田市・茨木市・箕面市・熊取町)

固定資産税、都市計画税(熊取町は除く)、法人市民(町民)税、事業所税(大阪市、吹田市が対象)を軽減)

◆全国を先導する規制改革の取り組み

- ・府市規制改革会議(会長:堺屋太一内閣府参与)
⇒府市の条例・規則、処分審査基準の自己点検、国規制改革への提言
- ・高効率で環境負荷の低い火力発電所のみ、環境アセスメント条例の適用を除外。
- ・いわゆる健康食品の機能性表示に係る制度改革に関する要望(国への提言)

大阪から「世界に打ってでる」「世界を取り込む」プロジェクトを提案

大阪府・市は、「世界に打ってでる」「世界を取り込む」ため、都市の競争力の強化、医療等のイノベーション、インフラ・人材の分野で、国家戦略として、大胆な規制緩和・税制措置を講じるプロジェクトを提案。提案プロジェクトに対して、国とともに、民間、大学・研究機関、地方公共団体などが一体となって全力をあげて取り組む。

分野

健康・医療イノベーション



大阪から提案するプロジェクト

■課題解決型のリーディング産業「健康医療産業」の創出～世界最先端のライフクラスター形成

- 免疫・再生医療等の未来医療産業化国際展開拠点の整備
- 国際級のオープンイノベーション「複合医療産業拠点」形成
- 次世代がん治療法BNCTの国際医療研究拠点の整備
- 健康食品の機能性表示認証制度の創設
- 国内外の市場をめざす医療機器の研究開発・事業化促進プラットフォームの整備
- ロボット介護機器の実用化促進拠点の整備

世界に
打って出る

世界と戦う 大都市の国際競争力強化



■世界と戦える国際都市プロジェクト

- 民主導による都市空間構造改革
- イノベーションを加速するビジネス環境の革新

■世界市場を獲得する環境・エネルギープロジェクト

- EVスポーツカーなどの開発・製造環境の整備
- 自律型走行自動車の展開
- 鉄道網を活用とした都市とエネルギーシステムの一体開発
- 関西国際空港(KIX)スマート愛ランド構想「水素グリッドプロジェクト」

世界を取り
込む

世界に
打って出る

グローバル展開を支える物流インフラ強化 & 人材育成・労働環境整備



■グローバル展開を支える物流インフラ強化

- 関西国際空港グローバルサプライチェーンプロジェクト
- 我が国産業と国際物流を支える国際コンテナ戦略港湾プロジェクト（阪神港）

■公設民営学校の実現

- 公立学校運営の民間への開放(中高一貫校新設、既存の小中学校で実施)

■グローバル人材の育成・労働環境の整備

- 国際バカロレアの認定を受ける公設民営学校の設置
- 就業率80%の達成に向けたハローワークの地方移管と女性の活躍促進

世界を取り
込む

世界に
打って出る